

山梨大学医学部附属病院 [地域医療連携だより]

パートナー

2026
vol.29

令和8年6月発行

[特集] 診療科・部門のご紹介

歯科口腔外科／救急科／光学医療診療部／働き方改革センター



歯科口腔外科スタッフ

山梨大学医学部附属病院 **診療科・部門のご紹介**

歯科

口腔外科

Oral and Maxillofacial Surgery

近年、術後合併症を予防するための口腔管理の重要性が高まっています。山梨大学歯科口腔外科では、周術期外来と連携し、口腔細菌による術後肺炎、頭頸部・消化管悪性腫瘍術後の創部感染、さらに、咀嚼不良に伴う栄養障害・窒息・挿管時の動揺歯脱落など、多様なリスクに対応しています。

入院前には周術期外来で口腔内スクリーニングを行い、入院後は当科外来にて歯科衛生士による専門的口腔ケアを実施しています。また、必要に応じて、挿管時の歯牙脱臼を防ぐための抜歯や保護用マウスピースを作製して

います。術後も継続して経口挿管管理が必要な患者さんについては、人工呼吸器関連肺炎(VAP)予防の観点から、週1回のICU回診で口腔ケアを行っています。さらに当院では、毎週、栄養サポートチーム(NST)が病棟を回診しており、歯科医師もこれに参加し、口腔機能低下や化学放射線治療の影響により経口摂取が困難な患者さんに対し、口腔管理を通じた食事支援に取り組んでいます。加えて、摂食嚥下支援チーム(SST)にも参画し、窒息・誤嚥予防や適切な食事形態について多職種で検討しています。退院時には、かかりつけ医の先生方へ診療情報を提供し、地域で継続した口腔管理につなげています。

今後も医科歯科連携による周術期口腔管理を推進し、合併症を軽減させ、患者さんのQOL向上に寄与できるよう取り組んでまいります。



ICU 回診



多職種による NST カンファレンス



摂食嚥下支援チーム回診

救急科

Emergency
and
Critical Care Medicine

山梨大学救急科では、救急科専門医・集中治療専門医を中心に、初期診療から集中治療、各専門診療科への橋渡しまで、一貫した救急医療を24時間体制で提供しています。

敗血症性ショック、心肺停止、多発外傷、重症呼吸不全など、生命に関わる重篤な病態に対し、ECMO、人工呼吸管理、血液浄化療法などの高度医療を駆使し、救命医療に取り組んでいます。また、集中治療室では、急性期から継続した全身管理を提供しています。

地域医療機関で診療された重症症例に加え、診断が困難な症例や複数の問題を有する症例についても、救急科を中心に受け入れ、当院の各診療科および多職種と密接に連携しながら、それぞれの専門性を活かした総合的な診療を行っています。

二次救急輪番日には、診療チームの中心として多様な救急疾患の初期対応を担い、地域救急医療

におけるプライマリーケア医としての役割を果たしています。さらに、災害医療に対応するDMAT(災害派遣医療チーム)隊員が所属しており、災害医療活動に迅速かつ積極的に取り組んでいます。また、大学病院として、次世代の救急・集中治療を担う医療人の育成や、救急集中治療医学の発展に向けた研究にも力を入れています。

今後も地域医療機関の皆様との連携を大切にし、円滑で質の高い救急医療体制の構築に努めてまいります。



光学医療 診療部

Department of Endoscopy

光学医療診療部では、消化器・呼吸器領域の悪性腫瘍、炎症、出血、感染症に対し、内視鏡を用いた診断および治療を行っています。がん診療において内視鏡の役割は極めて大きく、食道・胃・大腸の早期がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)をはじめ、胆道閉塞に対する内視鏡的逆行性膵胆道造影検査(ERCP)下胆道ステント留置術や超音波内視鏡下胆道ドレナージ、膵周囲液体貯留に対する超音波内視鏡下ドレナージなど、高度な内視鏡治療を多数実施しています。年間の処置件数は、消化管内視鏡治療が約800件で、そのうち内視鏡的止血術が約160件、ESDが約160件です。ERCPは約600件と山梨県内で最多の実績を有しています。内視鏡関連学会の専門医・指導医資格を持つ熟練医を中心に、正確かつ精密な診療を提供すると

ともに、若手医師の教育や関連学会への参加を通じて、知識と技術の向上にも継続的に努めています。

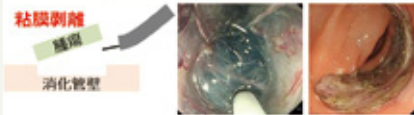
また、安全な内視鏡医療の提供を重視し、偶発症の解析に基づくリスク低減、最新設備やインカムの活用による情報共有、業務の一部外注化による効率化にも取り組んでいます。高齢化に伴い、低侵襲で確実な診断・治療を担う内視鏡医療の重要性は、今後さらに高まると考えられます。地域の先生方と密に連携し、患者さんに安心して高度医療を受けていただけるよう、今後も安全で質の高い最先端の内視鏡医療を提供してまいります。

最新設備のもとで業務効率化

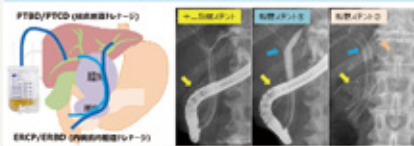


多くの患者様に高度医療

ESD: Endoscopic submucosal dissection
(内視鏡的粘膜下層剥離術)



ERCP下胆道ステント留置術



働き方改革 センター

Work Style Reform Center

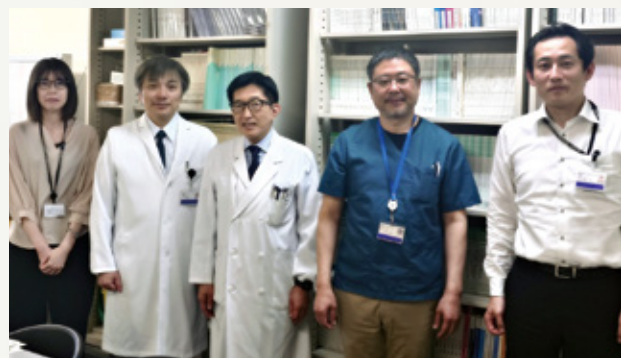
働き方改革センターは、山梨大学医学部附属病院の働き方改革を推進するため、勤務環境改善と業務効率向上の推進、持続可能な働き方を構築することを目的として設置されました。労務管理担当である波呂浩孝副院長のご指導のもと、中島歩センター長、小川陽一副センター長に加え、笠井総務課長、細野総務課長補佐をはじめとする総務課のメンバーで、以下の業務を担当しています。

- (1) 当院すべての職種の勤務環境・労働時間の改善
- (2) タスクシフトおよび業務改善の推進
- (3) ワークライフバランス推進および柔軟な働き方等の検討
- (4) 働き方改革に関する啓発活動
- (5) その他センターが必要とする業務

当センターでは、医師の時間外労働時間を把握するとともに、土日祝日を除く週休日の勤務状況について、毎月開催している「医師の働き方改革推進チーム会議」におい

て、各診療科の働き方接指導医と情報共有し、チーム医療の拡充や、自宅で連絡可能となる体制づくりを必要に応じて実施しています。

本年度は、勤怠管理システム「Dr.Joy」の導入により、これまでの勤怠管理体制から大幅な内容変更を行いました。各診療科においては多大な負担が生じる一方で、医師の働き方改革関連制度の施行に伴い、勤務間インターバルの確保や面接指導体制の構築などの取り組みが必須になっています。今後も医療現場の実情を踏まえながら、制度対応と診療の質の両立を目指し、引き続き取り組んでまいります。



セミナー・講演会等のお知らせ

対象：医療従事者

開催名	主催	開催日	開催場所	お問合せ先 (内線番号)
第29回 甲信セミナー	山梨大学医学部眼科学講座 他 共催	2026年7月4日	シャトレゼホテル 談露館	内線 2372
第77回 山梨大学医師会講座	山梨大学医師会・山梨県医師会 他 共催	2026年8月22日	山梨県医師会館 講堂	内線 6160

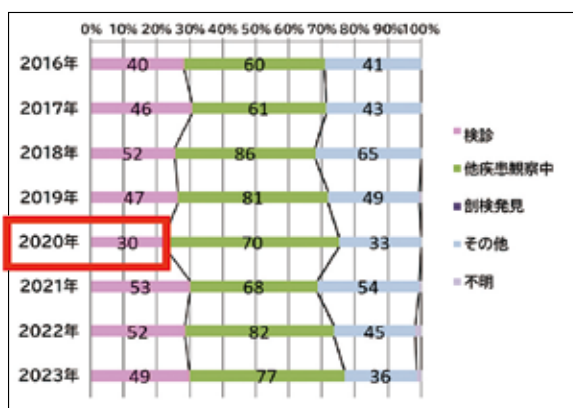
※上記セミナー・講演会へのお問合せは TEL:055-273-1111 (代表) へお掛けのうえ、お問合せ先の内線番号をお伝えください。



がん登録 もっと身近に

当院で初めてがんと診断・または治療を受けた症例について発見経緯・がん種・組織型・UICC病期分類・初回治療など集計結果を当院ホームページに掲載しています。
当院がん登録室オリジナルのゆるキャラによる制度の解説も掲載しています。
ぜひお気軽にご活用ください。

たとえば、胃がんの発見経緯からこんなことがわかります。

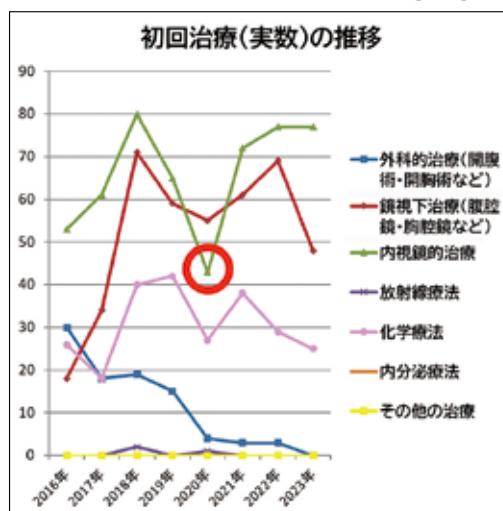
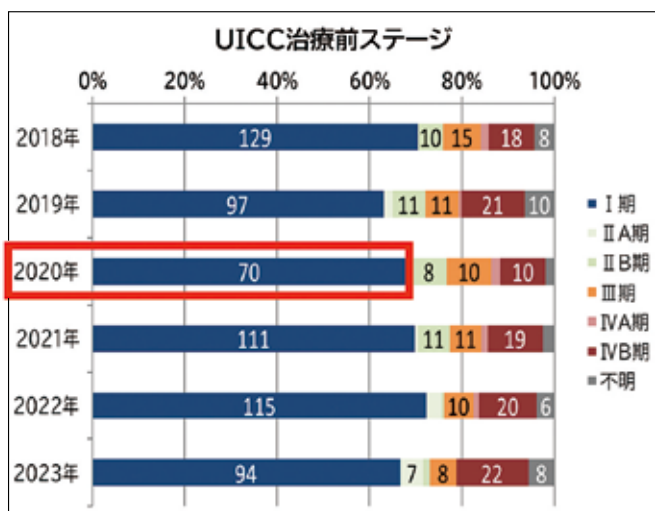


2020年は胃がんの検診発見が少ないよ



2020年は胃がんのI期も少ないね

内視鏡治療も少ない！
新型コロナの影響かも



山梨大学医学部附属病院 ホームページ 集計結果
TOP>相談窓口 / がん医療>がんセンター各部門>がん登録部門

